



産業情報支援センターの運営組織である(株)西条産業情報支援センター(愛称:サイクス)の各種情報をお知らせします。

今月は、市内企業の所有する様々な技術を紹介する「我が社の得意技」などについてお知らせします。

もっと詳しく知りたい方は…  
○産業情報支援センター  
TEL0897-53-0010 FAX0897-53-0011 Eメールinfo@saijo-sics.co.jp  
サイクスのホームページもご覧ください。  
http://www.saijo-sics.co.jp/



▲刈払機用チップソー防護足カバー

**得意分野は防護服製造**  
「防護服製造に取り組み始めた20年程前には、防護服の民間需要はほとんどありませんでしたが、あえて誰も手を付けていない分野にチャンスがあると考えました」と株式会社トーヨの渡辺学社長は語る。トーヨは昭和47年創業、当時はアパレル事業が中心であったが、昭和60年プラザ合意などの輸出環境の変化に伴い、防護服事業への進出を決めた。現在は、アパレル事業から防護服事業への事業転換を完了し、産業界のニーズである、耐高温防護服、耐高圧ジェット水防護服、チェーンソー・刈払機の耐切創防護服などを積極的に開発供給し、作業中の安全性の向上と労働

**高度なニーズに対応した防護服**  
産業界では労働災害の撲滅に向けて厳しい配慮がされているにも関わらず、いまだ災害は多く発生しており、更に高度な安全管理が要求される現状にある。「いまだに業者者の安全リスクの高い業種は多く存在する。防護服を使うことでリスクが軽減できれば」と渡辺社長が言うように、これらの災害の中で適正な防護服の着用により防げた災害事例も多いと思われる。トーヨの防護服は、高強度のアラミド繊維をはじめ最先端の素材を駆使し、同時に長



▲未来への熱い思いを語る渡辺社長

環境の改善に貢献している。

我が社の得意技 ⑤  
最先端素材を駆使しニーズに対応  
株式会社トーヨ (小松町新屋敷)



▲シミュレート装置による安全性の実証実験

年培った縫製技術による商品開発力と、各種産業界の企業ニーズに基づく共同開発により実用化された商品であり、産業界からも高い評価を得ている。また、チェーンソー・刈払機用防護服においては、実作業の安全性を実証するため世界に先駆けてシミュレート装置も開発し、高い評価を得ている。「若い発想力を基に、一つでも新しい商品を市場に出していければ」と語る渡辺社長の安全への取り組みは、留まることが知らない。(レポーター: 技術相談室アドバイザー 和田)



▲自己分析の結果を仲間と楽しく語りながら、将来の自分像を描く参加者

**うちぬき創造塾 2007 開催**  
サイクスからの事業報告  
8月8日から10日までの3日間、市内の中学3年生から高校3年生7名が参加し、うちぬき創造塾2007を開催しました。今回の創造塾は、「自己実現できる自分を創造する」をテーマに、自己分析やゲストスピーキング、市内企業への職場訪問、25歳の自分をイメージしたプレゼンテーションなどを通して、自らの将来像を描いていきました。参加者からは、「より一層夢が近くなりました」「自分の考え方が参加前に比べて前向きになっていくように感じました」などの感想が聞かれました。